

この取材レポートでは、各務原市まちづくり活動助成金 令和4年度事業の活動の様子をご紹介します。
 令和4年度交付事業 … <スタート助成>1年目：1事業/2年目：2事業<まちづくり助成>1年目：3事業/2年目：1事業

10月8日(土)



10月26日(水)



団体名 耀く大野町まちづくり委員会 **スタート助成2年目**

事業名 アンケートによる
住民の意向調査事業

事業概要 大野町住民(約360世帯)に対して、よりよいまちづくりのための意識・意向調査を実施する。そのアンケート結果を踏まえ、次年度に取り組むべき事業を企画立案する。また、住民が調査報告書を閲覧することにより、地域課題解決の意識が高まり、よいまちづくりのきっかけ作りを行う。

事業費総額：43,000円 / 交付決定額：13,000円

主な経費内容 印刷用紙代、プリンターカラーインク代、お茶(助成対象外経費)

10月8日(土)9:00~15:00、大野町公民館で開催された防災イベントにおいて、参加住民に対し、耀く大野町まちづくり委員会による防災イベントアンケートが実施されました。防災イベント自体は事業外ですが、大野町自治会が主催し、耀く大野町まちづくり委員会が協力する形で開催されました。

アンケートは、防災に関する住民の声を把握して自治会行事に反映させる目的で実施。勉強会に参加した人のほか、キッチンカーに魅かれて会場を訪れた住民に配布されました。自治会の協力により、回答するとキッチンカーで使えるチケットと引き換えられるように工夫されたため、98人が回答しました。回答しながら、住民同士が防災について意見を交わし合う姿もあり、アンケート自体が地域での防災や共助を話し合う機会になっていました。

回答には、「防災について再認識した」や「自分のこととして考えるようになった」との意見がありました。

団体名 スコーレ各務原 **スタート助成2年目**

事業名 子育て・親力アップセミナー事業

事業概要 子育て中の家庭の養育者を対象に、これから育てていく子ども達の健全な育成を目指して、広く子育て講座やセミナーを開催して家庭のあり方を伝え、必要に応じてサポートしていく。

事業費総額：872,800円 / 交付決定額：300,000円

主な経費内容 交通費、ポスター、チラシ、コピー代、感染症対策消耗品、会場使用料、情報誌掲載広告料、リモート配信機材レンタル代

10月26日(水)10:00~11:30、那加福祉センター集會室において、中学生までに子どもの養育者を対象にしたセミナー「今こそ！生きる力を育てる～親子で育もう！自己肯定感～」が開催されました。前回同様、会場とオンライン配信での開催となり、会場11名・オンライン1名が参加しました。また、今回は新たに保育サービスを設け、3名が活用しました。

セミナーでは、公益社団法人スコーレ家庭教育振興協会中部圏講師の藤井友理さんが、子どもの生きる力を育てるために家庭でできることについて講演。藤井さんは、ご自身の育児の経験談を交えながら、「人生のハードルを越えるためにはエネルギーが必要であり、家庭で子どもたちのエネルギーを補充してあげることが大切」と話されました。また、子どもの長所(容姿・容貌、性格、能力)やプロセスを褒めることが自己肯定感につながるとして、参加者同士で褒め合う練習も行われました。

各務原市まちづくり活動助成金 令和4年度交付事業取材レポート

NO.3



10月29日(土)



「まちづくり活動」とは？

広く市民に開かれ、地域課題解決に向けた取り組みを行う、自主的かつ公益的な活動をいいます。
まちづくり活動によって、地域が元気になり、活動者自身もその効果を実感できる取り組みを想定しています。

あなたも地域への思いを実現するための一歩を
踏み出してみませんか

団体名	ミニ SL 各務原	まちづくり助成1年目
事業名	ミニ SL による三世代交流再開事業	
事業概要	市内の地域三世代交流を目的に、市内の保育園・幼稚園児にミニ SL に楽しく乗車していただく事業。	
事業費総額	479,969 円 / 交付決定額：300,000 円	
主な経費内容	レール消耗品、枕木、石炭、スチームオイル、事務消耗品、保険料、缶バッチ作成委託料、チラシ印刷委託料、デザイン費、リアモーターカー備品、SL (マウンテン) 備品	

10月29日(土)10:00~15:00、川島ライブデザインセンターで開催されたクラブ・サークル発表会において、ミニ SL 各務原による電動リアモーターカーの乗車会が開催されました。川島ライブデザインセンターのクラブ・サークル発表会では、催し物として、飲食物や雑貨などの販売や、川島中学校体育館での制作ワークショップなども設けられ、子どもから高齢者まで多様な来場者があり、この乗車会にも老若男女問わず多くの希望者が訪れました。

小さな子どもの乗車に当たっては、乗車の手伝い・見守り・乗車説明や注意喚起などの声掛けを通じて、スタッフと子どもだけでなく、スタッフと子どもの保護者との交流も生まれていました。無料での提供ということもあり、子どもが二度三度と繰り返し乗車するうちに親子とスタッフが顔なじみとなり、元からの知り合いのような気さくな会話も生まれていました。また、高齢者の乗車では、列に並ぶ子どもたちが乗車中の高齢者に向かって手を振り、高齢者が嬉しそうに伝える様子も見られました。

1日を通して、団体が目指す「三世代交流」と「来場者の笑顔」があり、対応するスタッフの皆さんにも笑顔が見られました。

市では、市民の皆さんが積極的に「まちづくり活動」に参加できるよう資金や知識・相談面でのサポートを充実させています。

■始めてみたい

- ・まちづくり活動を学ぶセミナー（デビューセミナー）
「地域のために活動したい」と考えている方のためのセミナーを開催しています。
- ・まちづくり担い手育成支援事業
まちづくり活動に興味がある若い世代を対象に、交流会や学習会を行っています。

■相談したい

- ・まちづくり支援事業
活動の構想から、団体の設立・運営、活動継続など、段階に応じたサポートを行います。

■資金を得たい

- ・まちづくり活動助成金
各団体が行う地域課題を解決するための公益的な活動や事業に関する経費の一部を助成します。

■知識を得たい

- ・まちづくり参加セミナー
団体のスキルアップや運営改善のためのセミナーを開催しています。

■つながりたい

- ・まちづくり担い手マッチング事業
活動分野を超えたさまざまな団体同士がつながることで、これまでできなかったことを実現できます。

詳細はお気軽に、まちづくり推進課でお問い合わせください。

各務原市役所 市長公室 まちづくり推進課（産業文化センター6階）

電話 058-383-1997 メール machidukuri@city.kakamigahara.gifu.jp

各務原 まちづくり活動助成金

検索

市ウェブサイトでも、この取材レポートをご覧ください。市ウェブサイト⇒ <https://www.city.kakamigahara.lg.jp/>
ホーム > くらし・手続き > 市民活動・まちづくり活動・自治会 > まちづくり活動 >
まちづくり活動助成金 > 令和4年度助成交付事業 > 令和4年度交付事業取材レポート

